

凡 例

1. 本年表は凡そ追浜行政センター管内の地域(旧浦之郷村)に関する出来事を、原始から平成28年(2016)までの年代につき収録したものである。
2. 各年代については、年号(和暦年)を記し、その下に西暦年を()に入れて記した。改元年は近世以前については、1月1日までさかのぼって新年号を使用し、近現代については改元日の前後で年号を使い分けた。また、明治6年1月1日の改暦(太陰暦は明治5年12月2日)までは太陰暦を用い、それ以降は太陽暦により表示した。
3. 見出しの月日は、日付不明の場合、年月のみで「12. ー」などと不明日を「ー」で記した。また、月日不明の記事は「この年」、年月日を特定することができない記事については「〇〇年間」「この頃」を用いた。
4. 人名については敬称を省略し、年齢の記載は近代(昭和20年)迄は数え年でこれを記した。
5. 地名については、昭和26年4月に浦郷地区(大字本浦、鉾切、深浦、榎戸、日向)の町名地番整理が実施され、新町名(現町名)に改められているが、本稿ではそれ以前の地名でも、旧地番によらず理解しやすい現町名で表示したところがある。
6. 「出来事」欄の事項の末尾に、()で文献等名を記し、出典を明示した。なお、()で出典史料名を記したが、その名称は適宜略称を用いた。その略称については、巻末に史料・文献との対照一覧を付した。併せて考古遺跡関係の参考文献を挙げたので参照されたい。

以上